

M A E B A S H I

広報まえばし

平成9年(1997年)

12/1

毎月1日・15日発行
No.1113号



特集 広瀬川ともっと遊ぼう

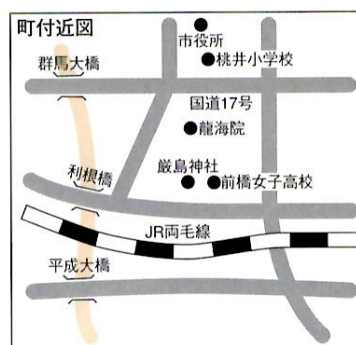
酒井氏歴代の墓地がある

市役所の南方を走る国道17号の、南の地域が紅雲町二丁目である。住宅地で前橋女子高校や龍海院、厳島神社などがある。

前橋女子高校は、市立高等女学校として、明治四十三年四月に東照宮境内にあった皇典講究所を仮校舎に開校。同年に前橋消防署の北に、更に、東京電力群馬支店の所に移転。そして、明治四十五年四月に県立に移管し、大正二年に現在地に移った。龍海院は、前橋藩主酒井氏の菩提寺で、初代の酒井重忠が前橋藩主になったときに川越から移された。境内には、市指定史跡になっている酒井氏歴代の墓



保存整備された酒井氏歴代の墓地



地がある。初代の重忠から十五代の忠顕までの墓石が並んでいる。封建時代の大名の権勢をしのばせるものとして貴重な史跡といわれる。平成二年から三年をかけて酒井家墓地は保存整備された。市外、県外からも多くの人が訪れている。初代前橋市長の下村善太郎の墓もある。酒井氏歴代墓地の入り口に「謙信陣屋杉」という大きな杉の根株が保存されている。この杉は、永禄十年（一五六七）に、武田信玄、北条氏康の大軍が、既橋城主上杉謙信を攻めたときに、謙信は、ここに陣を張り、この杉の上から敵状を視察したといわれている。根株の直径は約一・六メートルである。

また、「人丸さま」と呼ばれている厳島神社があり、境内に柿本人麿万葉歌碑がある。

ふるさと前橋

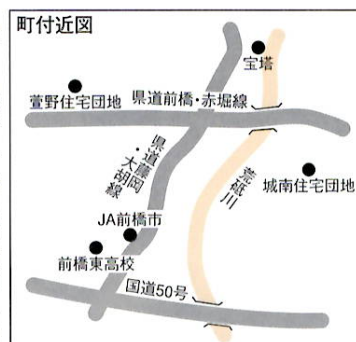
小さな旅 ③



小学生が中心となつて行ふ「おはやし」

国道50号の小島田町交差点を北に折れ、県道藤岡・大胡線を少し進むと富田町になる。更に走るとJA前橋市の本所が西にある。入り口に今年七月にオープンした農産物直売所もある。東境には、荒砥川が流れ、ほぼ中央を東西に県道前橋・赤堀線が走り、北隣は大胡町となる。五十年前の昭和二十二年九月十五日、カスリーン台風で県内は大きな被害を受けた。町を流れる荒砥川もはん濫して、周辺の田畑の埋没や堤防の決壊などを引き起こした。当時、町は荒砥村に属し、宮城村、大胡町の関係者とともに荒砥川耕地整備

富田町 — * バラの生産が県内で上位



組合を組織し、耕地の復旧に当たった。町にある三柱神社には、このときの整地の碑が建立されている。

地元では、稲作のほかにはバラの栽培も盛んに行われている。富田町の切り花の生産量は、県内で上位にランクされる。

町には、市指定文化財の「宝塔」がある。宝塔は、遺骨などを納めた塔のことで、この物は輝石安山岩製で、塔身が壺型になって、室町時代初期の特徴をよく示している。

町では、四年に一度、四月一日に屋台が三台出て、小学生が中心となつて行ふ「おはやし」が神社に奉納される。この屋台は天正年間の物ともいわれている。三年間は、毎年十月十六日に屋台を出さずに「おはやし」だけを奉納している。



ベテランテニス大会で準優勝



名倉 智恵子さん (46) 川原町

第五十九回全日本ベテランテニス選手権大会の四十五歳以上女子シングルスで準優勝した。この硬式テニス大会の女子は、四十歳以上を五歳刻みに分けて行う。三回目の出場で、本県から初の決勝進出を果たした。

「夢のようです。体調もよかったですし、運が向いていたんですね。直接本戦に出られる人もいますが、わたしは予選からの出場でした。過去二回は予選負けだったのです。とにかく本戦に出たかったです。だから、予選では、勝ちたいという気持ちからプレッシャーを感じました。逆に本戦は、チャレンジャーとして自分の力を試してみようと思いました。それがいい結果につながったんですね」

テニスは大学生になってから始めた。卒業後まもなく結婚して出産。育児のため十年ほどラケットを握らなかった。

「大学でテニスのサークルに入るまでスポーツらしいことはしていなかったのです。最初のころは、汗をかくことが新鮮でした。本格的にやろうなんて思

家族の理解と協力のおかげで

っていませんでした。三人目の子が生まれるときに前橋に越してきたんです。子どもをベビーカーに乗せて散歩しているうちに、近所にテニスコートを見つけて壁打ちを始めたんです。もう一度テニスをする気持ちがわいてきましたね。こちらの出身ではないので、テニスを通して友達も作れたかったです。今では県内のあちらこちらに仲間ができるまでになりました」

今回の大会の一月ほど前から、家庭の事情で練習ができなかった。幸い大会のときは出場できる状況になった。

「出場権はあったけれど、もしかししたら試合に行けないかもしれないと思いましたよ。だから、テニスができるというだけで幸せに感じました。それがプラスに働いたのかもしれないですね。自分自身もそうですけど、やはり家族が健康でいて、家族の理解と協力がなければ、テニスはできないし、大会に参加することもできません」

勝敗にこだわらず、あくまで技術の向上を目指して、たとえ中断する時期があったとしても細く長く続けたいという。心に秘めた情熱を感じる。



表紙のご案内

マラソンや持久走などの季節になりました。東中では、先月15日に利根川河川敷内の公園で「校内マラソン大会」を行いました。全校生徒 495人が、学年や男女を問わず、1800円、2600円、3400円の希望するコースに参加。記録的なタイムを出したり、なんとかゴールしたりとさまざまなですが、みんながんばりました。

3 広報まえばし

目次

12月1日号

- ふるさと前橋 小さな旅／紅雲町二丁目・富田町 2
- 人 ひと／名倉智恵子さん 3
- 特集・広瀬川とちょっと遊ぼう 4
- 活躍しています各町の生涯学習奨励員さん 12
- 人権週間・世界エイズデー 16
- Qのまち歳末フェスティバル・歳末特別警戒 17
- 市政スポット／消費生活展・ウォーキングジャンボリー・農業まつり・クリーン前橋 18
- ときめき広場／荻窪町・勝山小・父親学級に参加して・市役所ロビーにインドの民俗画 19
- インフォメーション 20
- スポーツ・文化・児童・高年者・都市計画・選挙・公園・福祉・税・水道・相談・商工業・ミニ情報・健康など
- 市民のステージ／さーくる仲間・わが家のアイドル・ミニアート館 28

前橋
ファイト

広瀬川と遊ぶ^{もっと}ぼう

にぎやかな「街」を呼び戻すために

「広瀬川をもっと活用しよう」—— 広瀬川とその
河畔は、前橋市のキャッチフレーズ「水と緑と詩^{うた}の
まち」のシンボルゾーンですが、中心街のにぎわい
につなげるため、積極的な利用を進めるべきだとい
う声が、市民の間で起こっています。ここではその
ような市民の皆さんの動きを参考にして、「広瀬川」
について考え合ってみたいと思います。



「前橋ファイト」は、前橋市が、より元気になるために、市の課題などに取り組むシリーズです。ご意見ご要望などをお寄せください。



市民の問題提起——6・7
河畔を歩く——8・9
私は提言します——10・11

交水堰^{ぜき}付近から比刀根橋を望む

今、広瀬川に 市民の熱い視線

広瀬川——。輝く水面、揺れる柳が美しい川です。広瀬川は、市内を北西から東南に約十八^{きり}にわたってゆつたりと流れています。

昔からふるさとの特徴のある場所として市民に親しまれてきました。特に市街地付近では、河畔緑地の整備が進められ、ゆかりの詩人たちの詩碑も立ち並び、散策や休息、写生や写真撮影と、たくさんの市民に利用されています。また、川沿いに、詩情のまちにふさわしい文学館も建てられました。

その一方で、こんなにすばらしい場所をもっと活用して街の活性化につなげなければという意見や、前橋市の誇れる観光資源として積極的に宣伝して、たくさんの市外の人たちにも訪れてもらおうという提言も、いろいろな方面から聞かれます。

こうした折、一市民から「市長への手紙」として、貴重なご提言が寄せられました。また、中心市街地の活性化を検討している組織などでも、広瀬川の活用が大きなテーマとなって活発な議論がされています。

にぎやかな街の復活、その大きな担い手としての「広瀬川」に、今、市民の熱い視線が注がれています。

「市長への手紙」で問題提起

人の集う楽しい河畔演出を



「市長への手紙」と呼ぶには分厚い、ワープロ打ち九ページほどの提言書が、若宮町二丁目の海野雅弘さん(四九)から届けられました。

ハード面から ソフト面まで

そこには、子どものころの思い出とつながった広瀬川の風景や、現在の広瀬川河畔の分析と問題点などがきめ細かく書かれてあり、今後の活用について数多くの提言がされています。

全部をご紹介できないのが残念ですが、護岸を下げる、川辺のオープンカフェや小劇場の設置などの



提言書にはイラストも

ハード面から、とうろう流しや水中競歩、橋上のコンサートなどのソフト面まで、人が集まり楽しめる、にぎやかな河畔の演出が具体的に展開されています。文学館前の朔太郎橋で行うイベントのイラストまで、添えられています。

また、広瀬川との関連で中心街の活性化にも言及し、その中に出てくる「現在は、街の魅力が駐車代に負けている」との指摘は考えさせるものがあります。

広くみんなまで 話し合う場を

まとめで、「広瀬川の活用を軸にした街の復活」のためには、市民と行

イメージが次々と

生まれ育った前橋の街が、いつまでもにぎやかなことを願っ



海野 雅弘さん

ています。年をとっても楽しい街で過ごしたいですからね。それにはどうしたらいいのか考えたとき、やはり広瀬川の活用とということが真っ先に頭をかすめました。次から次へとイメージが浮かんできて、居ても立ってもいらなくなって、市長さんに提言書を送りました。住んでいる者がみんなで考える、そのきっかけになればと思います。

政、市内外の専門家などで広く議論をし合うことが大事ではないかと述べています。
なお、この提言は市長が目を通して、関係部課に配られました。今後の市の取り組みに生かされることになります。

市長への手紙 市では、市民の皆さんからご意見などをお聴きするため、「市長への手紙」という制度を設けています。普通は公共施設など二十九か所に置かれたハガキを利用していただいています。ファクスなどでも受け付けています。

広瀬川

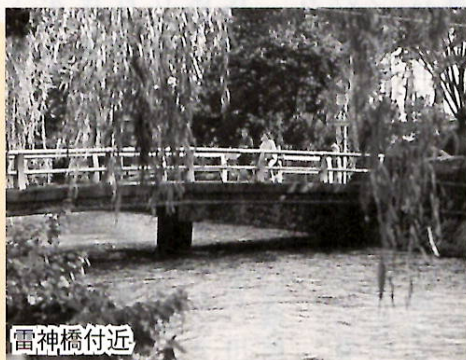
アラカルト

●古利根川の流れ

利根川は、十六世紀ごろ県庁西を流れる今の川筋になり、広瀬川は古利根川の流れといわれています。

●河畔緑道は12km

市内を流れる広瀬川の長さは、約十八・三キロ、中



雷神橋付近

心街河畔の緑道の長さは約一・二キロメートルです。

●長年にわたる河畔整備

基本的な河畔整備は、昭和五十年から五十七年度まで八年度にわたって実施されました。

●文学作品に登場

広瀬川は、多くの文学作品の題材になっています。「広瀬川白く流れたり」で始まる萩原朔太郎の詩「広瀬川」は有名です。



萩原弥惣治市長

市長
から

より魅力的な広瀬川に

「広瀬川の活用」について市民の皆さんの間で、いろいろな意見や提案がありますがどうお考えですか。

市長 たいへんありがたいことだと思っています。いままさながらに、広瀬川に対する皆さんの思い入れが強いというのを感じますね。参考にします。

「広瀬川は前橋を代表する場所、景観だと思っていますが、市長 市外から来る人たちも、



精力的に開かれている街づくり委員会

市民の組織でも議論が活発

中心街の活性化につなげて

中心街の活性化に関連して、市民の組織でも、広瀬川の活用について活発な議論が行われています。二つの委員会の取り組みを紹介します。

街づくり委員会

分科会で具体案

中心商店街協同組合の街づくり委員会では、中心街の活性化の大きな要素として広瀬川とその周辺に着目しています。

委員会はすでに十数回開かれ、その中に広瀬川河畔整備に関係する分科会を設置、突っ込んだ研究と検討が行われました。委員の皆さんが知

広瀬川付近の景観に賛辞を贈ってくれます。河畔は皆さんから「広瀬川詩の道」の愛称を付けていただきました。ここをなんとか全国的なものにしていきたいですね。

中心市街地との関連では、

市長 広瀬川を生かす方法を商店街の人たちを含めて、広く皆さんからご意見を聴きしたいと思っています。その上で、人が歩きたくなるようなより魅力に富んだ広瀬川河畔を、中心街の活性化施策と一体となった整備として進めたいと考えています。

恵を出し合い、具体的な内容がまとまってきました。

例えば、勢多会館跡地に、ホールやギャラリー、図書館などを備えた複合的で独創的なパブリックシアターの建設、展示会やコンサートなどが行えるようなスペースの設置、詩に親しみながら散策できるような環境の創出、更に商店街との連携を考えた回遊性の推進など、前向きな提言が盛りだくさんです。

これらの成果は市などの関係機関に提案していく予定になっていますが、広瀬川の今後の活用方法、再整備計画の大きな方向性を示すものとして、各方面から注目を集めるに違いありません。

活性化委員会

検討がスタート

市長の委嘱で設置された前橋中心市街地活性化委員会でも、議論が行われています。有識者、専門家などにお願した委員会では、いろいろな視点から前橋市の活性化について検討がされています。

個別的な内容の検討はこれからですが、委員の皆さんの発言の中に、広瀬川とその周辺の重要性が熱っぽく語られています。

●詩碑・歌碑の宝庫

朔太郎をはじめ北原白秋、室生犀星、伊藤信吉、谷川俊太郎などの詩碑、木下謙吉などの歌碑が建てられています。

●糸のまちしのぶ絹の橋

かつて前橋が製糸業で栄えたころ、従業員たちが渡ったという細い橋が、昨年「絹の橋」と命名、きれいになりました。



●全国的な評価も

昭和六十一年に河畔緑地が「手づくり郷土賞」を受賞するなど、全国的な評価を受けています。今年、前橋公園・広瀬川河畔緑地周辺地区が「都市景観大賞・景観形成事例部門（地区レベル）」に入賞しました。

●愛称は市民公募

市民の応募によって、河畔緑地の愛称が昨年「広瀬川詩の道」と名付けられました。道標が三か所に設置されています。

河畔を 歩く

広瀬川詩の道

それでは、愛称が昨年「広瀬川詩の道」と名付けられた広瀬川河畔を、実際に歩いてみましょう。一年前に県外から前橋市に転入して、今年度市政モニターをお願いしている文京町二丁目の山内郁子さんを、広瀬川に詳しい前橋文学館の加藤鶴男館長に案内していただきました。

豊かな水 樹木も多く 落ち着いた感じ

加藤館長 こんにちは。去年、前橋にいらしたんですって。この辺りを歩いたことはありますか。
山内さん 近くまでは来たことはありますが、こうやってゆっくり歩くのは初めてです。
加藤館長 広瀬川は歴史もあるとて

もいい所です。市街地のオアシスというか、雰囲気がいいでしょう。
山内さん 水量が豊かで、においもなくきれいな川ですね。河畔に花や樹木も植えられ、とても落ち着いた感じで気持ちがいいです。
加藤館長 川の両側が長い年月をかけて整備されてきました。今は「広瀬川詩の道」と呼ばれて、市民に親しまれています。
山内さん とてもビルの谷間にある場所とは思えませんね。それに橋や街灯のデザインにも生糸などが取り

詩碑があつて 文学の散歩道の ようですね

加藤館長 ここには前橋市のキャッチフレーズ「水と緑と詩のまち」のエッセンスが全部あるんですよ。水

入れられたりして、前橋らしさが伝わってきます。



▲「広瀬川」の詩碑

►糸をデザインしたガス灯

▼文学館前の朔太郎像



と緑は今見えてきたとおりですが、前橋ゆかりの人たちの詩碑などがところどころに設置されていて、初めて来た人は一様に感嘆します。
山内さん 文化的な薫りにも気を配っているという感じがします。前橋は、詩人が多く育ったまちと聞いています。
加藤館長 詩は、前橋の文化を表すシンボルなんです。これが萩原朔太郎の「広瀬川」という詩碑です。朔太郎は日本の近代詩に大きな足跡を残した詩人で、前橋市が生んだ偉大な文学者です。
山内さん 散歩しながらとか、そういう人の作品に触れられるということとは、すばらしいことですね。
加藤館長 この河畔には、ほかにも室生犀星や草野心平、伊藤信吉さんらの詩碑があります。萩原朔太郎賞を受けた現代の詩人たちの碑も、毎年建てられています。
山内さん ほんとうに文学の散歩道という気がしますね。詩の鑑賞ができた前橋の知識が増えたり、勉強にもなります。



立ち止まって談笑する山内さん(左)と加藤館長



朔太郎橋を利用して、詩の朗読会やミニコンサートなどユニークな催しが開かれています。展望橋ではラジオ体操も。



河畔には、詩碑が多く点在することから
詩碑めぐりが盛んに行われています。ふ
るさとの文化・歴史がいっそう身近に。



水と緑と詩の中を散策。市街地を回る学校や団体の歩け歩け大会などでは、欠かせないコースの一つになっています。

広瀬川はこれまでもいろいろな形で利用されています。

加藤館長 ここが文学館です。市制百周年を記念して建てられたものですが、朔太郎を中心とした郷土の詩人たちの貴重な資料などが展示されています。

山内さん こうして歩いてくると、寄つてみたくなりますね。次の機会には、朔太郎の資料などをぜひ見学したいと思います。ところで車で来る場合、駐車場はあるのですか。

加藤館長 文学館の前の朔太郎橋を渡った所にあるのが「市営パーク城東」で、大きな駐車場です。

山内さん 広瀬川河畔って、とてもすばらしいと思うのですが、子どもたちを中心に家族で楽しく遊べるス

子どもたちが
水と遊べる
空間が欲しい



景観的にも美しい文学館

ペース、例えば、水に直接親しめる場所が欲しいですね。夏の夜には虫が飛んだりするといいな。それに、川を向いて気楽に飲食ができるお店とかイベントのためのスペースがあったらいいですね。ある程度時間をつぶせるような。

加藤館長 同感です。川辺に文化施設を増やすとか。これからの課題でしょうね。朝太郎橋の上を利用して

工夫を凝らしたイベントがときどき聞かれています。こうしたことが定着していくのを期待しているんですよ。

山内さん 今日の前橋市のとてもよい所を見せていただきました。県外のお友達を呼んで、広瀬川を案内したくなりました。

全国に誇れる場所



山内 郁子さん
あるなんて驚
きですね。全
国的に誇れる
場所ですよ。

丁寧な説明を受けて、楽しく有意義に歩かせていただきました。関西や横浜など数か所に住みましたが、中心部にこんなに

いっぱい

私は提言します

勢多会館の跡地に
文化的施設を建設



荒木 博一さん
三俣町三丁目・58歳

街の中心部を流れる川で、これほどの景観はそうありません。まず、近くに住む人が広瀬川を好きになることが大事です。人が集まれば、いろんな声が出ますから環境は変わります。そのためには開発による核が必要です。一つとして勢多会館跡地に劇場などの文化的施設を建てるのが考えられます。(中心商店街協同組合理事長)

本に親しみながら
和める場所欲しい



小見 純一さん
敷島町・39歳

川の流れを緩やかにする工夫や子どもが遊べるエリアなどを考えて、水に親しみたいという市民の欲求にこたえることがたいせつです。それと読書に親しみながら和める場所が欲しいですね。広瀬川には、人がもともと持っている詩情を気づかせてくれるものがあります。新しい詩人が生まれますよ。(中心協・街づくり委員会委員)

「水上バスの走行」「オープンカフェの設置」「通行手形の発行」などなど、ワクワクするようなユニークで楽しいアイデアがたくさん出てきました。これは「広瀬川の活用」について、市街地活性化に関係する委員会のメンバーや、広瀬川の近くに住んでいる人たちに聞いたものです。夢のようなものもありますが、一つでも二つでも実現すれば、広瀬川はより確実にわたしたちに近づいてきます。皆さんのアイデアはいかがでしょうか。

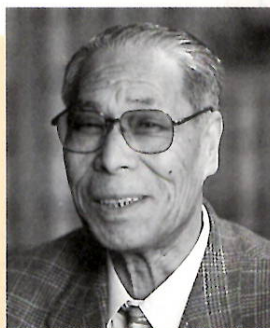
オープンカフェで
会話を楽しみたい



時平 和子さん
古市町・45歳

広瀬川周辺にもっと人が住みたいといけませんね。回遊性を持たせることも必要です。イベントなどの後に、そのまま帰らずのんびりと時間を過ごせるスポットが欲しいです。川にせり出したオープンカフェ、ちよっとおしゃれをして食事するレストランやパブで会話を楽しみたいです。(中心市街地活性化委員会委員)

川に面した店先で
広瀬川ブランドを



伴内 昭二さん
城東町二丁目・70歳

広瀬川に面したお店をずらっと並べて、そこでしか買えない品や味わえない食べ物を作るんです。そして、広瀬川沿いを歩かなくてはその街に入れないようにしたんです。通行手形のような物を発行し、それで子どもからお年寄りまで、広瀬川ブランドの食べ物や商品が安く買えるなんておもしろいですよ。(広瀬川河畔緑地公園愛護会長)



糸のまちをしをばせる絹の橋



峰岸 祥子さん
朝日町三丁目・55歳

河畔を橋で分けて 区域ごとの特色を

今でも、ある程度区分けがしてあるようですが、橋を境にしたり、河畔の左右を区別したりして、区域ごとの特色を出してもいいと思います。子ども向けの区域とか若者向けや大人向けなどをはっきりさせて、専門店や飲食店を置いたらどうでしょう。川は長いから、いろいろあつて楽しいじゃないですか。(女性施策推進協議会委員)

アイデア

「広瀬川の活用」



比刀根橋からのぞいてみると



小林 要一さん
三河町一丁目・48歳

水上バス走らせて 景観を楽しめれば

中心街のシンボルとしての広瀬川にこだわっています。楽しく時間を過ごせないといいません。いくつかのゾーンに分け、下町風やファミリー向けなどと特徴づけるといいと思います。それに、コンベンション施設へのアクセスとして親水性が必要です。水上バスを走らせて景観を楽しんでもらいたいですね。(街づくり協議会会長)



橋本 実さん
南町三丁目・40歳

車両を通さないで フリーマーケット

大きな通りから広瀬川河畔へ入っていく所が狭く感じられます。もう少し誘導性があったらいいですね。集まる人のターゲットを絞ることも必要です。やはり若者でしょう。そして、兩岸の道路を、一定の時間は車両を通さないでフリーマーケットなどを催す広場にして、歩いて楽しむスペースを作ることでしょうね。(青年会議所理事長)

市の取り組み

多角的に調査検討 「詩の道」の延長計画も

市ではこれまでも、広瀬川を前橋の誇れる場所とするため、河畔緑地や緑道の整備を進めてきました。

訪れる人々から、すばらしい景観と評価される広瀬川の観光的な価値をより高めようと、現在、広瀬川河畔並み整備調査を行っています。

この調査のねらいは、勢多会館跡地の活用方法や緑地のリニューアル、文学館との連携などを検討し、歩いて楽しい魅力ある河畔づくりにつなげていくこととします。このことは、現在の市の重要な課題である中心市街地の活性化にも大きな役割を果たすこととなります。

そのためにも、皆さんから寄せられたいろいろなアイデアや貴重な提言を、これからの計画に生かしていきたいと考えています。

また、現在の「詩の道」に引き続く上流(石川橋から柳橋までの間)と下流(中央前橋駅からこども公園付近の間)についても、緑道の整備を行っていく予定です。

この特集には、企画調整課、広報広聴課、商業観光課、公園緑地課、公園管理課が関係しました。問い合わせやご意見は広報広聴課 市内線3522へ。

生涯学習奨励員さん

学びの
ページNo34

●各自治会一人ずつ

「前橋方式」ともいえるユニークな「生涯学習奨励員制度」。生涯学習奨励員は、本市の全町（自治会）に一人ずつ、現在、二百十八人の経験豊かな人材にお願いしています。昭和六十一年に九十三人を委嘱しました。そして、平成三年には、すべての自治会に生涯学習奨励員が誕生し、地域に根ざした広範な市民の生

各町の学習活動のために、地域ボランティアとして活躍している「生涯学習奨励員」が誕生して十二年になります。自治会や各種団体などの協力によって、しっかりと地域に根づいた活動に取り組んでいます。今回は、生涯学習奨励員の活躍ぶりの一部を紹介します。



文化祭で展示を手伝う生涯学習奨励員さん

涯学習への意欲の高揚と多彩な実践活動を展開しています。

奨励員は、市民の最も身近なコミュニティ組織である自治会で、町公民館を会場に学習の機会を設定したり、学習グループを組織したり、情報の提供や相談など、住民のさまざまな学習活動を奨励援助する指導者です。特定の学習分野を直接指導する講師というよりも、計画をしたり世話をしたり、相談に応じたりす

●地域ぐるみで推進

る間接指導者で、まさに「町の学びのボランティア」といえます。

中でも生涯学習に欠くことのできないものの一つに情報活動があります。九月六日、七日に市民文化会館で開かれた「生涯学習フェスティバル'97」で、九十四自治会の「町の広報紙」が展示されました。体裁はA3判からB5判まで、また、ワープロや手書きもあり、印刷方法も多彩です。紙面の内容は各町とも、イベント案内、町内の人物紹介、文芸作品の発表など、町情報紙独特の心温まる情報に満ちています。現在、紙面の編集のため、編集委員会を組織する自治会が増えてきています。

また、「町の歴史」や「町の思い出」などの記念誌を発刊して、町内の世帯に配付する活動に取り組んでいる自治会も多くなっています。その内容も、戦争・災害体験や伝説、方言、習慣、遊びの伝承など多彩です。

身近な町での生涯学習活動を地域ぐるみで推進していこうと、自治会役員や町内の各種団体の代表者などをメンバーとして、〇〇町生涯学習



ブロックごとに行われている研修会

●ブロックで研修も

推進委員会といった名称の組織化が、多くの自治会で進められています。そして、自治会や子ども会育成会、婦人会、老人クラブ、各種文化団体などと連携を更に深め、文化祭や環境学習、世代間交流など、多彩な活動へと広がりを見せています。

相互の交流や研修を目的に、十六のブロック組織が、本庁管内は中学校単位に、他の地区は地区公民館単位にでき、研修会などを開催し研さんを積んでいます。平成二年一月には、奨励員の全市の組織として市生涯学習奨励員連絡協議会（島田兼之会長）が発足し、市の事業への協力や研修会など生涯学習のための積極的な活動を行っています。

これらの奨励員による活動は、各町で新鮮で多彩な芽吹きとなって表れ、地域の生涯学習活動として根づき、今後ますます充実していくことでしょう。

活躍しています

各町の

町クローズアップ

町挙げての委員会を設立

..... 下沖町

「身近な生涯学習活動によって、住民の交流がよりいっそう深まり、町が明るくなりましたね。学習活動が地域づくりにもたいへん役立っています」と下沖町自治会長の根岸恒雄さん。

下沖町では、昭和六十三年四月に生涯学習奨励員が、市から委嘱され誕生しました。

■各種団体などを組織化

これを契機に、町では、自治会長や生涯学習奨励員たちが中心となって、住民の生涯学習活動の企画や運営に携わる組織として「下沖町生涯学習推進委員会」を、同六十三年九月に自治会内につくりました。この委員会は、自治会役員をはじめ、生涯学習奨励員、公民館を拠点にして生涯学習活動をしている団体・グループの代表者、体育協会代表者、民生委員、学識経験者など三十六人がメンバーとなっています。役員は、委員長に自治会長、事務局長に生涯学習奨励員、ほかに副委員長、副事務局長などを決め、町挙げての組織となりました。

■行事は自治会と連携して

活動目標は、自治会と連携して生涯学習活動の推進、団体・グループ活

動の相互の連携・交流と連絡調整、生涯学習の情報提供などです。経費は、自治会の補助金などによって賄われています。

体力づくり事業では、スマイルボウリング、ラジオ体操、ハイキング、グラウンドゴルフ、運動会など行っ



学習活動で来年のえと「とら」の木目込み人形づくりを楽しむ

ています。交流事業としては、納涼祭、伝統芸能発表会、親子三代もちつき大会など。学習活動としては、



広報紙編集の打ち合わせをする吉田さん(左)



東毛地域への史跡めぐり

■町づくりに大きな成果

こうした生涯学習活動として行われた行事が発展し、グラウンドゴルフは独自に愛好会がつくられ活動しています。

生涯学習奨励員として三年目の吉田馨さんは、事務局長として自治会や各種団体と緊密な連携などで運営に精力的にかかわっています。「役員や住民の皆さんが、とても協力的で、積極的に参加してくれるのでやりがいがありますね。これからも交流の場を多くしていきたいと思っています」と、吉田さんはまとまりのよさを強調していました。

生涯学習活動は、町自治会のスローガンでもある「やさしい心のふれ合うまち」に大いに役だっています。

町を超えて多彩な学習活動

生きがい塾・文京地区

多くの人が積極的に、地域の生涯学習活動に参加しています。ここ文京地区では、文京町一・二・三・四丁目、天川原町一・二丁目、天川町、第一天川町自治会の人たちがいっしょになって、毎年、「生きがい塾」として学習活動を行っています。

今年度は、約二百人の受講生が参加して、身近な法律や健康など十回の講話を開催しました。その中で、地元の中学校に授業参観をして生徒との交流会や地域にある工場見学なども行い、地元に根づいた学習活動も行われました。更に、学習活動は

講話にとどまらずに、原子力発電所の見学、市外への歴史探訪なども実施し、幅広い学習活動を展開しています。開催は、社会福祉協議会が主体ですが、婦人会などの各種団体の協力もいただいているそうです。

企画や運営は、それぞれの自治会の生涯学習奨励員が集まって、何度も会議を開き決められます。生涯学習奨励員でまとも役になっている文京町一丁目の生涯学習奨励員の田上宏さんは「年々参加者が増え学習意欲が高まっています。内容も充実してきて、レベルの高いものが行われ



ていますよ」と話し、今後も更に、幅広い学習活動を進めたいということです。

毎回おおぜいの参加者が集った生きがい塾

身近な情報掲載で住民交流 広報紙づくり・小坂子町



月2回行われている編集会議

町の行事や生涯学習情報を満載した、町の広報紙が市内の約半分近くで発行されています。「自治会報」「生涯学習だより」などの広報紙名で、身近な情報メディアとして、多くの市民に親しまれるとともに、生涯学習の推進にも大きな役割をしています。それぞれ地域の特色を持った紙面です。

ここ小坂子町でも生涯学習奨励員の鈴木秀平さんが編集責任者となつて、毎月一回、B5判八ページの「こざかしだより」を発行しています。

編集委員は、自治会長が発行責任者となつて、自治会、商工会、長寿会の代表者、ボランティアなど十六人がメンバーになっています。定例の編集会議は、毎月、十日と二十五日の二回開催。紙面は、編集委員の五人がワープロで原稿整理して発行します。自治会行事案内や町の歴史、短歌・俳句など、身近な情報が掲載され、住民の交流や学習活動の情報紙になっています。シリーズ化された「町の昔と今」は、町の歴史を知る貴重な資料にもなっています。

「編集はたいへんですが、みなさん楽しそうです。地域の人たちに読まれると思うと喜びを感じますね」と鈴木さんは話していました。

奨励員さん クローズアップ

文化財や施設を見学



萩原 みち子さん
千代田町四丁目
75歳

毎週、カラオケと民謡の集いをしています。市内の寺院や文化財、施設などの見学会も行っています。町の人口が少ないので、ほかの町と協力していっしょに学習活動ができればいいですね。広報紙も発行したいと思っています。



岩上 良吉さん
光が丘町
66歳

記念誌と町歌を作成

おとし、町発足30年を記念して、「30年のあゆみ」の発行や手作りの町の歌の作成に取り組みました。納涼祭と文化祭を交互に開催していますが、今後は両方を毎年開催するなどして、住民の連帯感をよりいっそう深めたいですね。



講師から茶の湯を学ぶ子どもたち

歴史探訪で郷土愛を育てる

歩く集い・荒牧町

先月の二日、荒牧町では、「学びのつどい」の事業として、「荒牧町を歩く集い」を自治会と生涯学習推進委員会の共催で行いました。

町は、現在、区画整理事業が行われており、既に町の約八五%が整理され、かつての面影もなくなるほどの町並みに変化しています。そこで、これを機会に町を回り、文化財や区画整理の前の様子などを見たり、伝説や民話などを語り合ったりしようということ、歩く集いが開かれました。

午前九時に参加者は、町公民館を

出発しました。生涯学習奨励員の木下敬さんによって作られた、二十一ページもある資料集が、当日、配付されました。船着き石、お不動様、旧沼田街道と草津街道が分れる道しるべなどを、見学して回りました。参加者は、町の歴史などが詳しく解説してある資料を参考にしながら、あらためて町をより深く知る場面もありました。

見学が終わると公民館で座談会が開かれました。座談会の中では「まだまだ、町には歴史的な場所があるので、この行事を恒例にしてほしい」



地元の文化財を訪ねて学習する学びの集い

地元の人講師に茶の湯学ぶ

各種講習会・総社町巢烏

総社町巢烏で「茶の湯講習会」が、十月に巢烏公民館で開かれました。この行事は、生涯学習奨励員の戸所長司さんが中心となって進められました。昨年に引き続き開かれた同講習会には、子どもからお年寄りまで初心者三十九人が参加。講師に同町在住で、前橋茶道会常任理事の福田宗哲さんを招きました。

まず講師が、お菓子の取り方について実技を交えて説明。次の人に「お先に」と声をかけ、上から順に取っていくのがポイントです。お菓

子を食べた後は、実際に自分でお茶を立てます。お湯の注ぎ方や茶せんは慣れない手つきで挑戦。熱心に茶せんを動かします。飲み方を指導されると、みんなおいしそうに自分の立てたお茶を飲んでいました。

また、指輪や時計などの貴金属は付けないようにするという注意を受けたり、茶わんの見方を学んだり茶の湯と触れ合った有意義なひとときになりました。

同町は、今回のように地元の専門家を講師に迎えるのが特徴。同町在住の医師を招いた「健康教室」も開かれました。次は、「しめ縄作り講習会」を予定しています。

自分自身の勉強にも



寺沢 慶子さん
広瀬町一丁目
58歳

先月、島田奨励員連絡協議会会長を講師に社会教育講演会を開きました。来春に、史跡めぐりを計画しています。なにも分からないことからの出発でした。今後も自分自身勉強しながら、町の人とも協力して、活動の輪を広げていきたいです。

生涯学習で人材育成



今井 省一さん
住吉町一丁目
65歳

3年前に生涯学習奨励員となって、まず、広報紙「住一だより」を発行しました。また、自治会と一体になって生涯学習講座を開いたり、バスで土屋文明記念館に出かけたりしました。人材育成のためにも、生涯学習活動はたいへん重要ですね。

生涯学習の問い合わせは、生涯学習課 ☎内線 4025 へ。

人権週間

19日には特設相談所の開設も

今月四日から「人権週間」が始まります。昭和二十三年十二月十日の第三回国連会議で「世界人権宣言」が採択されました。これを記念し、毎年十二月四日から十日までを「人権週間」と定め、広く人権意識の普及高揚

を図っています。

今年の人権週間は、①子どもの人権を守ろう②育てよう思いやりの心③国際化時代にふさわしい人権意識を育てよう④部落差別をなくそう⑤女性の地位を高めよう⑥障害者の完全参加と

平等を実現しよう⑥高齢者をたいてつにする心を育てよう——の六点が強調テーマです。

【特設人権相談所】

「人権週間」を記念して特設人権相談所を開設します。秘密は守られますので、お気軽にご



人権擁護委員が相談員に

相談ください。
日時 12月19日(金)午後1時～4

世界エイズデー

正しい知識で誤解と偏見をなくそう

十二月一日は「世界エイズデー」です。これはWHO(世界保健機構)が、エイズまん延防止と患者・感染者に対する差別

や偏見の解消を目的に、一九八八年に提唱したのが始まりです。

今年のテーマは、「子どもたちの未来のために! 今、エイズを考えよう」です。世界では多くの子どもたちが、感染や保護者の喪失などの脅威にさらされています。こうした子どもたちやその家族を、エイズから守る行動を世界に呼びかけます。

【エイズの現状】
感染者数は、上表のとおりです。

【なくそう誤解や偏見】
感染者と生活したり、仕事をしたといった日常的な接触では、HIVウイルスはうつりま

せん。正しい知識を身につけて、誤解や偏見をなくしましょう。

【本市の取り組み】
本市では、「エイズ対策専門委員会」が、エイズ予防対策を啓発活動を中心に行っています。

また、学校ではエイズ教育推進委員会を組織して、エイズ教育を行っています。平成八年度からの三年間は、文部省の研究指定を受け、更に研究を進めています。研究は、市エイズ教育(性教育)推進委員会および実践委員会を中心に「学校・家庭・地域との連携を図りながら、共に生きていく力を育てるエイズ教育(性教育)」を研究主題とし

て、協力校で行っています。

●学校での取り組み
①小中学生用の指導テキストを作成し、それを基に指導②体育・保健体育・道徳・学級活動で指導③学校保健委員会で取り上げる④教職員の研修を実施⑤児童生徒保健研究会中学校部会

の研究テーマに取り上げる。

●家庭への働きかけ
①PTA新聞、学校だよりなどにエイズを取り上げる②学校保健委員会で取り上げる③エイズに関する講演会やPTAセミナーを実施④保護者向け「エイズの知識Q&A」を作成し配付⑤市や保健所で実施するエイズ講演会や映画会を紹介。

●地域への働きかけ

①上川淵や桂萱など協力校地域の公民館報で取り組みを紹介②エイズを題材とした映画「秋

校」を上映③文部省の担当者によるエイズ講演会を開催。

●健康相談

保健センターで、エイズ相談窓口を設置し、面接・電話による相談を実施。

●健康教育

自治会や市民グループなどの希望により、保健センターなどで保健婦による講話を実施。また、ビデオの貸し出しも。

【保健所などでエイズ検査を】

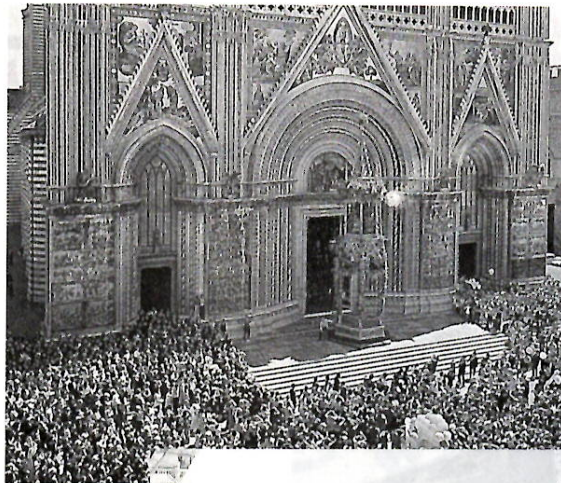
エイズ検査は、中部保健所(匿名可)や各医療機関で行っています。検査を希望する人は、感染の機会があったときから三か月後に受けてください。なお、保健所(☎231-7721)では相談も行っています。

○：問い合わせは保健センター ☎223-8844、保健給食課 ☎内線4054へ。

エイズの現状		
感染理由	全国の感染者数(人)	本県の感染者数(人)
異性間の性的接触	1,144 (572)	42 (20)
同性間の性的接触	523 (76)	2 (1)
注射器の共用	14 (10)	1 (1)
母子感染	18 (7)	0 (0)
その他・不明	637 (484)	18 (14)
合計	2,336 (1,149)	63 (36)
※平成9年8月末日現在。()内は外国人。		

Qのまち歳末フェスティバル

中心商店街でフェスタ・イタリアーナ



▲オルビエート市風景



▶福引抽選会

恒例の「Qのまち歳末フェスティバル」を開催します。今年は、イタリア・オルビエート市との友好都市の調印を記念して、「ボンジヨルノ オルビエートフェスタ・イタリアーナ」と題し、中心商店街を飾り立てます。本市出身の歌手・坂田早苗さんのカンツォーネコンサートなどイベントが盛りだくさん。また、「イタリア・オルビエート七日間の旅」やオルビエートのワインなどが当たる福引抽選会も実施します。

恒例の「Qのまち歳末フェスティバル」を開催します。今年は、イタリア・オルビエート市との友好都市の調印を記念して、「ボンジヨルノ オルビエートフェスタ・イタリアーナ」と題し、中心商店街を飾り立てます。本市出身の歌手・坂田早苗さんのカンツォーネコンサートなどイベントが盛りだくさん。また、「イタリア・オルビエート七日間の旅」やオルビエートのワインなどが当たる福引抽選会も実施します。

恒例の「Qのまち歳末フェスティバル」を開催します。今年は、イタリア・オルビエート市との友好都市の調印を記念して、「ボンジヨルノ オルビエートフェスタ・イタリアーナ」と題し、中心商店街を飾り立てます。本市出身の歌手・坂田早苗さんのカンツォーネコンサートなどイベントが盛りだくさん。また、「イタリア・オルビエート七日間の旅」やオルビエートのワインなどが当たる福引抽選会も実施します。

周辺商店街でも

歳末感謝セール

ビエート七日間の旅」をプレゼントします。抽選は二十四日(水)発表は二十五日(木)です。

周辺商店街では、十二月一日(月)から十四日(日)まで「歳末感謝セール」を行います。期間中、ポスターのはつてある参加店で買い物をした人には、粗品をプレゼントします。

また、抽選ハガキを商品を買った店に提出する前橋周辺商店街連絡協議会事務局(市役所商業観光課内)へ郵送すると抽選で百八十人を、恵比寿ガーデンプレイスでの昼食と、劇団「四季」によるミュージカル「夢から醒めた夢」にご招待します。

○：問い合わせは商業観光課 ☎内線3605へ。

歳末特別警戒

地域で協力して放火を防止

今月十五日から三十一日まで、「歳末特別警戒」を実施します。

この時期は、慌ただしさから火に対する注意もおろそかになりがちです。また空気も乾燥して火災が起こりやすいので、一人ひとりが防火に努め、たいせつ

な命や財産を守りましょう。

□期間中の主な行事

次のことを実施しますので、ご協力ください。

①バーなど風俗営業施設の立ち入り検査②デパートやスーパーなど大型店の消防パトロール

③火災予防広報や消防活動上の障害物件の排除指導④消防長、消防団長の夜間巡視⑤消防団員の夜間警戒と水利保全⑥製材所の立ち入り検査。

□放火火災に注意

毎年、全国各地で火災原因の



上位に挙げられるのが「放火」です。本市でも今年これまでの火災原因のワースト一位(放火の疑いを含む)になっています。放火による火災は、深夜に発生

することが多く、発見が遅れるため被害も大きくなります。放火を防ぐために、地域で協力し、次のことに注意して放火されない環境をつくりましょう。

①家の周りには段ボールなどの燃えやすい物を置かない②夜はゴミを出さない③家の周りには外灯などできるだけ明るくする。

○：問い合わせは消防本部予防課 ☎224-3211へ。



市 政 ス ポ ッ ト



先月二十三日に行われた「ウオ―キングジャンボリー」。十キロ、二十キロ、三十キロの三つのコースに、家族やグループなど合わせて千四百人が参加しました。通過場所は、広瀬川遊歩道や敷島公園、大室公園など、自然や歴史、文学に親しめるスポットがいっぱい。参加者は、自分たちのペースで歩いて晩秋をたんのうしました。

みんなで歩いて 晩秋をたんのう

「くらし再発見」をテーマに、先月7日・8日にグリーンドーム前橋サブイベントエリアで、「消費生活展」が開かれました。2日間で5,000 人の人出で大にぎわい。会場にはバザーやフリーマーケット、手作り教室などのほか、体験・クイズ・試食コーナーも設けられました。マグロ解体コーナーでは、大きなマグロに長い包丁が入ると、周りの人たちから歓声が上がりました。



5千人で大にぎわいの消費生活展



「農業まつり」と「群馬用水まつり」がJA前橋市で、先月二十三日に開催されました。農産物の即売やものまね大会などのイベントが行われ、収穫と水の祭典を楽しみました。

農産物即売などで 収穫の秋を楽しむ



100歳おめでとう



飯塚 よしさん
女屋町

先月二十五日に百歳を迎えました。和菓子大好物。趣味は手まりを作ることです。



先月二十三日、JR前橋駅北口のケヤキ並木や国道50号などで実施された「クリーン前橋」。参加した二十人はゴミ袋やほうきを持ち、美しい街を目指し清掃活動に励みました。

美しい街を目指し 駅北口周辺を清掃

まちの話題

荻窪町

遺産後世に

石造物調査

先月九日、荻窪町自治会が同地区の石造文化財を調査しました。町には多くの石造物が存在しています。しかし、その実態が分からず、貴重な遺産を後世に伝えるため、四十八人が参加して今回の調査となりました。調査結果によると荻窪神社前

に庚申九十三体、道祖神など五体、東共有地には庚申百十四体、相續庵社は庚申四体、その他の所が道標三体でした。一体ごとに大きさを測定。また、刻まれた文字で製作年などを確認しました。

講師による庚申信仰と時代背景の説明もあり、参加者は今後の石造物の保管のたいせつさと、歴史調査学習の輪を広げていくことを感じ合っていました。



ほつとメール

期待ふくらむ

子どもの誕生

幸塚町 秋山 勝 31

わたしが市の主催する「父親学級」に参加したのは、出産予定日の約一か月前でした。

わたしたち夫婦にとって初めての妊娠で、父親としての実感がなかなかわかずじつじつと不安が、ビデオや講義で、妊娠期間中からの役割も重要であること

を知り、父親になるということに自覚しました。また、人形を

使つてのむく浴実習もあり、そこではだれもが真剣な面持ちで取り組み、わたし自身も緊張で汗がにじむ思いでした。予定日が近づくにつれ、子どもへの楽しみや期待がふくらんできます。

そのような中での参加は、妻に対するいたわりの気持ちや、子育ては夫婦の協力が必要であること、周囲の人の援助などで親自身も成長させられることを再確認するよい機会でした。

初めてのことで分からないことばかりですが、今回参加したことで、不安が和らいだような気がします。新まえパパですが誕生が心待ちの毎日です。



学校だより

祭りでお年寄りと交流

勝山小学校

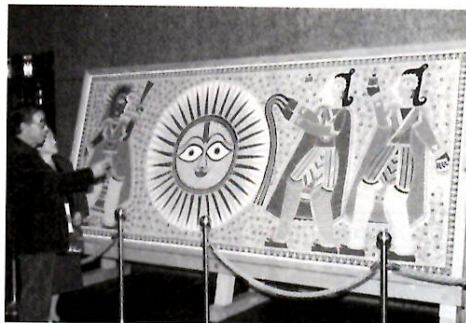
先月十八日、勝山小でお年寄りなど二百人を迎えて「ふるさとまつり」が開かれました。

この行事は、児童と地域の人たちとの交流を目的に今年で十七回目。授業参観のほか、体育館で郷土伝統芸能や合唱の発表などが行われました。「のりものごっこ」「しめ縄作り」や、社会科の「天狗岩用水」などの授業参観では、地域の人たちもいっしょになつて授業を楽しみました。昼食は、給食とPTAが作っただんごを食べました。

ズームあつぷ

市ロビーにインドの民俗画

7月、8月に市役所1階市民ロビーで公開制作されていた「ミティラー民俗画」が、このたび完成し、同じ場所に2月まで展示。絵はインドの太陽神スーリヤを題材にした壁画です。



ときめき広場

インフォメーション

スポーツ

教室

■ヨガ

日時①1月14日～3月25日の水曜十回、午前10時30分～正午②1月16日～3月27日の金曜十回、午前10時30分～正午③1月17日～3月28日の土曜十回、午後2時～3時30分 会場Ⅱ大渡温水プール軽スポーツ室 対象Ⅱ一般、各三十人(抽選) 参加費Ⅱ各二千元 申し込みⅡ12月17日(水)(必着)までに往復ハガキで(一人一通。受講曜日・住所・氏名・年齢・職業・電話番号を横書きで明記して、大渡温水プール「ヨガ教室係」へ

■アクアビクス

日時Ⅱ①1月20日～3月10日の火曜八回②1月22日～3月12日の木曜八回、いずれも午前10時20分～11時20分 会場Ⅱ大渡温水プール 対象Ⅱ18歳～60歳の女性、各三十人(抽選) 参加

費Ⅱ各二千元 申し込みⅡ12月15日(月)(必着)までに往復ハガキで(一人一通。受講曜日・住所・氏名・年齢・職業・電話番号を横書きで明記して、大渡温水プール「アクアビクス教室係」へ

■健康温水プール浴

日時Ⅱ1月16日～3月6日の金曜八回、午前10時20分～11時20分 会場Ⅱ大渡温水プール 対象Ⅱ50歳～65歳の泳げない健康な人、三十人(抽選) 参加費Ⅱ二千元 申し込みⅡ12月15日(月)(必着)までに往復ハガキで(一人一通)。住所・氏名・年齢・職業・電話番号を横書きで明記して、大渡温水プール「健康温水プール浴教室係」へ

■ヨガ

日時Ⅱ①1月19日～3月23日の月曜十回②1月22日～3月26日の木曜十回、いずれも午前10時30分～正午 会場Ⅱ総合運動公園

園コミュニティプール 対象Ⅱ18歳以上、先着各四十人(重複受講可) 参加費Ⅱ各二千元 申し込みⅡ12月17日(水)～22日(月)、午前10時～午後5時に参加費を添えて本人が直接

■エアロビクス

日時Ⅱ①1月14日～3月25日の水曜十回②1月23日～3月27日の金曜十回、いずれも午前10時30分～正午 会場Ⅱ総合運動公園コミュニティプール 対象Ⅱ18歳以上、先着各四十人(重複受講可) 参加費Ⅱ各二千元 申し込みⅡ12月17日(水)～12月22日(月)、午前10時～午後5時に参加費を添えて本人が直接

市民球場と広場の利用調整会議

利用調整会議

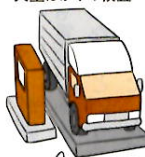
総合運動公園の市民球場および多目的広場の利用調整会議を毎年行ってきましたが、「まえばしネット」の導入に伴って、来年四月からは、公的な大会で使

年末正量取引強調月間 はかりは正しく使いましょう

今月は、年末正量取引強調月間です。計量検査所では、商店や消費者がお互いに正しく取引引きできるような事業を行っています。この機会に、市民の皆さんが計量について再点検しましょう。

○…問い合わせは商業観光課 内線3608へ。

(トラックスケール)
大型はかりの検査



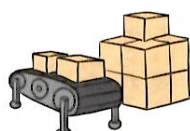
ガス・水道・電気メーターの検査



はかりの定期検査



ガスリンメーターの検査



工場製品などの量目検査



パブリックスケール制度
(公衆面前計量はかり設置)



タクシーメーターの検査



商品の量目検査



商店への立入検査

用の場合だけを、利用調整することになりました。

なお、一般の利用については、調整会議は行いません。「まえばしネット」で申し込んでくださ

スポーツ	……P20
文化	……P21
児童	……P22
高年者	……P22
都市計画	……P23
選挙	……P23
公園	……P23
福祉	……P24
税	……P24
水道	……P25
相談	……P25
商工業	……P26
ミニ情報	……P26
健康	……P27

文化

大室公園

古墳の整備工事

大室公園にある国指定史跡の前二子古墳、中二子古墳、後二子古墳、小二子古墳は、長い年月の間に、墳丘の土が流されたり、削られたりして、形が変わっています。

また、中心部の石室も木の根によって動かされ危険な状態です。このため、四つの古墳の補修を中心とした保存整備工事を行います。工事のため、後二子古墳が見学できません。

工事期間Ⅱ第一期整備工事Ⅱ12月中旬Ⅲ3月 工事内容Ⅱ後二子古墳の、崩れた部分の補修や

厚く積もった土の除去、樹木の間引き、石室の整備など。その他Ⅱ前二子古墳、中二子古墳、小二子古墳は、従来どおり見学可

○：問い合わせは文化財保護課
☎231-9531へ。

名作劇場と 映像コンサート

名作映画劇場

日時Ⅱ12月9日(火)午後2時 会場Ⅱ総合教育プラザ(岩神町三丁目) 内容Ⅱ「34丁目の奇跡」

(ジョージ・シートン監督、モリーリン・オハラ主演)

映像コンサート

日時Ⅱ12月5日(金)午後2時 会場Ⅱ総合教育プラザ(岩神町三丁目) 内容Ⅱベートーベン交響曲第9番「合唱付き」など

○：問い合わせは視聴覚ライブ

ラリー ☎230-9094へ。

市立図書館

☎224-4311

「お話の会」(クリスマス会)

日時Ⅱ12月13日(土)午後2時Ⅲ2時40分 内容Ⅱ「いないいないばあ」「しっぺいたろう」 出演Ⅱ萌えぎの会 その他Ⅱクリスマス会も行います

「思い出の映画劇場」

日時Ⅱ12月17日(水)①午前10時②午後2時 内容Ⅱ①「雨に唄えば」(ジーン・ケリー監督・主演)②「足ながおじさん」(ジーン・ネグレスコ監督、フレッド・アステア主演)

前橋文学館

☎235-8011

□第45回アート・ステージ「シユーベルト生誕三百年記念・田村稔リサیتال」

日時Ⅱ12月13日(土)午後6時30分

市民文化会館

☎221-4321

「鑑賞友の会」会員募集

平成十年度「鑑賞友の会」の新入会員・継続会員の申し込みを受け付けています。

対象Ⅱどなたでも 年会費Ⅱ新入会員 千四百円(入会金百円を含む)(継続会員 千三百円)

期間Ⅱ4月1日Ⅲ翌年3月31日 その他Ⅱ特典として①会館主催事業の入場券の割引②同事業のチケットの年間予約(四本以上の人)③会館が発行する「催し物案内」などの送付 申し込み

日時Ⅱ12月13日(土)午後6時30分

教育文化功労者

24人と3団体を表彰

今年度の教育文化功労者表彰式が、先月27日に総合教育プラザで行われました。

さまざまな分野で教育文化の振興や発展に大きな功績のあった24人と3団体を表彰。表彰された皆さんは次のとおりです。——敬称略——

学校医＝新井有治(昭和町一丁目) 大塚浩之(大友町三丁目) 狩野忠雄(上泉町) 桑島茂夫(三俣町一丁目) 堤博史(元総社町) 増田正晴(高花台一丁目)

学校歯科医＝首村泰永(住吉町二丁目) 高松啓三(天川大島町二丁目)

学校薬剤師＝川浦賢二(石倉町四丁目)

教職員＝小屋正(西片貝町五丁目) 竹越茂之(天川原町) 日向野惇(平和町二丁目) 宮崎徹(下川町)

社会教育＝鎌田清美(下川町) 東宮不二夫(岩神町一丁目) 前橋市成人学校書道クラブ(大手町二丁目) 山本佐紀子(天川大島町一丁目)

社会体育＝岩神地区体育協会(岩神町三丁目) 城南地区体育振興会(二之宮町) 砂川規矩雄(総社町総社) 関口邦夫(南町二丁目) 西川達男(六供町)

学術・芸術文化＝栗原治郎(大手町一丁目) 田中寿々夢(新堀町) 吉沢泰雄(川原町)

各種功労＝岡本信正(箱田町) 平方力(住吉町二丁目)

□表彰の対象となる人

教育文化功労者表彰は次のような人が対象になります。

①多年にわたり市立学校職員などとして勤務し、職務上の成績が特に優秀で他の模範となる②有益な研究、考案、発明で教育に貢献した③学校教育・社会教育の振興の功績が顕著である④学術や文化の向上発展の功績が顕著である⑤教育施設などの充実整備の功績が顕著である⑥その他、教育文化功労者として表彰に値する業績や行為があった。

○：問い合わせは教育委員会総務課 ☎内線4002へ。

市民芸術文化祭

□演劇発表会

日時Ⅱ12月14日(日)午後0時30分 午後5時の二回 会場Ⅱ市民文化会館 内容Ⅱ「アンティグネ」を演題に、児童文化センター演劇教室と劇団「ペルソナ」による発表

○：問い合わせは生涯学習課 ☎内線4024へ。

日時Ⅱ3月14日(土)午後4時 入場料ⅡS二千五百円、A二千円 出演Ⅱ京都フィルハーモニー室内合奏団 前売りⅡ12月14日(日)午前8時40分から同館で

Ⅱ所定の用紙に記入して同館へ直接または郵便振替(00330-6-25715「前橋市民文化会館事業課」へ)

□チケット販売のお知らせ

●とつぴんぱらりのぶうコンサート

児童

児童館

★日吉 ☎ 233-5122

12月10日(水)クリスマスリース
を作ろう (3歳以上、先着二十
五人。申し込みは12月3日(水)
から) 12月17日(水)お正月飾り
を作ろう (3歳以上、先着二十
五人。申し込みは12月10日(水)
から) 12月24日(水)クリスマス
の集い (3歳〜小6、先着百五
十人。申し込みは12月13日(土)
前10時30分から本人が直接)

1月7日(水)お正月遊び ▽行
事は午後3時から(クリスマス
の集いは午後2時から)
★朝倉 ☎ 265-1955
12月10日(水)クリスマス準備
をしよう 12月20日(土)クリ
スマス会 (3歳〜小6、先着百五
十人。申し込みは12月8日(月)
から) ▽行事は午後3時から(ク
リスマス会は午後1時30分から)

★大友 ☎ 251-1337
12月13日(土)紙芝居とお話 12
月20日(土)クリスマス会 (3歳
〜小6、先着百五十人。申し込
みは12月6日(土)から) 12月24
日(水)子ども映画会 ▽行事は

午後3時から(クリスマス会は
午後1時30分から)
★下小出 ☎ 233-2622

12月10日(水)お正月飾り作り (5
歳以上、先着二十人。当日受け
付け) 12月17日(水)クリスマ
スの集いの準備をしよう 12月
24日(水)クリスマス集い (3
歳〜小6、先着百五十人。申し
込みは12月13日(土)午前10時30分
から) ▽行事は午後3時から
(クリスマス集いは午後1時
30分から)

児童文化センター

☎ 224-2548

□親子自然環境教室「冬の星を
観察しよう」
日時 12月19日(金)午後5時50分
〜8時 会場 嶺公園(集合場
所は児童文化センター) 対象
一般、四十人(抽選) 申し
込み 12月7日(日)午前9時から
同センターへ直接

□子ども映画会
日時 12月13日(土)午前10時50分、
午後1時30分の二回 内容 神
様がくれたクリスマスツリー
「ばくいやだよ」「私たちのこも
りうた」
□今月のプラネタリウム
日時 土曜日・祝日、午前11時、
午後1時20分、午後2時30分の
三回(第1・第3土曜は午後2時



プラネタリウムで星座の観察

30分のみ) 内容 ①テーマ 天
文学シリーズ「アインシュタ
インとブラックホール」(お話し
よしや座の話「見てはいけない
箱の中」 入場料 大人五十円、
子ども三十円(第2・第4土曜
は子ども無料。先着各七十人)
□今月の図画作品展
内容 城南小、桃瀬小、駒形小、
筑井小、六中、若宮幼稚園の児
童・生徒の作品展示

高年者

ひろせ 老人福祉 センター

☎ 261-0880

□生け花教室
日時 1月14日〜3月25日の第
2・第4水曜五回、午前10時〜

健康づくりがテーマ ポスターを募集

「健康づくり」を題材
にしたポスターを募集し
ています。

対象=小中学生 内容=
B3判縦(紙質自由)、
「健康づくり」を題材に
した標語を図案の中に入
れる(1人1点) 標語例
=願いはひとつ健康家庭/
良い汗かいて健康づくり
申し込み=1月16日(金)ま
でに市役所2階国保年金
課(☎内線3246)、県国民
健康保険団体連合会(☎
290-1363)へ直接

正午 対象 全日程参加できる
60歳以上の人を優先、十五人(抽
選) 参加費 無料(材料費は
実費負担、64歳以下の方は入場
料が必要) 用意する物 花器
木ばさみ 申し込み 12月25日
(木)(必着) までに往復ハガキで
(二人一枚)。住所・氏名(ふり
がな)・年齢・生年月日・性別・
電話番号を明記して、〒371前橋
市広瀬町二丁目一六・同センタ
ーへ
□しめ縄作り教室
日時 12月26日(金)午後1時〜3
時 対象 一般、先着五十組
(二組何人でも可。一組一飾り)
参加費 無料(64歳以下の方は
入場料が必要) 用意する物
カッター、木ばさみ、三十センチ
規、ミカン一個 申し込み 12
月25日(木)までに同センターへ

□機能訓練
整形外科医の指導 12月19日(金)
午後1時30分〜3時(高齢福祉課
☎内線3135へ予約が必要)

理学療法士の指導 12月9日・
16日・1月6日(火)、午後1時30
分〜3時 申し込み 初めての
人は市役所1階高齢福祉課(☎
内線3135)へ
□保健相談
日時 12月11日(木)午後1時30分
〜3時 内容 健康管理の話
□医師の健康相談
日時 12月25日(木)午後1時30分
〜3時

しきしま 老人福祉 センター

☎ 233-2121

□保健学級
日時 12月18日(木)午後1時30分
〜3時 内容 健康管理の話
□機能訓練
整形外科医の指導 12月19日(金)
午後1時30分〜3時(高齢福祉
課☎内線3135へ予約が必要)
作業療法士の指導 12月18日(木)
午後1時30分〜3時 申し込み
初めての人は市役所1階高齢
福祉課(☎内線3135)へ

□機能訓練
整形外科医の指導 12月19日(金)
午後1時30分〜3時(高齢福祉
課☎内線3135へ予約が必要)
作業療法士の指導 12月18日(木)
午後1時30分〜3時 申し込み
初めての人は市役所1階高齢
福祉課(☎内線3135)へ

都市計画

芦田地区区画整理 審議会委員を改選

西部第一芦田地区土地区画整理審議会委員の任期満了に伴い、新しい委員の選挙を行います。

選挙期日 3月1日(日) 選挙される委員 8人 選挙人名簿の縦覧と異議の申し出 1月13日(火) 26日(月) 立候補届けの受け付け 2月3日(火) 12日(木)、市役所9階区画整理第一課で

□選挙人名簿の登録手続き

選挙に先立ち、選挙人名簿を確定します。次に該当する人は書類を提出してください。

①未登記の借地権がある人は12月22日(月)までに借地権の申告

②共有の所有権(借地権)がある人は、1月26日(月)までに代表者

選任通知③土地所有者(借地権者)が死亡している土地の相続人は、1月26日(月)までに相続の届け出と相続人代表者選任通知

○：問い合わせは区画整理第一課 内線3912へ。

北部第三区画整理 新しい審議会委員

北部第三土地区画整理審議会委員が改選され、次のとおり決

まりました。任期は、平成十四年十一月四日までです。

敬称略

所有者選出委員 加藤政之助、鈴木照子、山田光一、小池鉄雄、坂井勇、今井道夫、関口要、戸部富治、登坂元三郎、根岸重次、清水藤雄 借地権者選出委員 高橋邦男 学識経験者選出委員 関口三代八、土屋史郎、細



区画整理で道路も広く

選挙

政治家の年賀状は 禁止されています

政治家は選挙区内の人に、年賀状や寒中見舞いなどのあいさつ状(電報、電子郵便を含む)を出すことが禁止されています。

また、政治家やその後援団体などが選挙区内の人へのあいさつを目的に、新聞、びら、パンフレット、テレビ、ラジオなどに有料の広告を出すと処罰され

井貞夫

○：問い合わせは区画整理第一課 内線3912へ。

消費者 の 豆知識

競争による
店間の過当
携帯電話・
PHSの安
売りは、消

「高校生の息子が親に無断でPHS(簡易型携帯電話)の契約をしたが、通話料が八万円になってしまいました。支払わなければならないのですか」といった携帯電話などの相談が増えていきます。「本体無料」「今ならアンケートに答えるとプレゼント」など、販売

費者にとって購入を容易にする一方で、契約意識の低下からトラブルを起こしているようです。

販売店は、消費者と契約を結ぶ度に、電話会社から契約奨励金を受け取るしくみになっています。

ただし、六か月以内に解約された場合は、この奨励金は電話会社へ返金しなければなりません。そこで、六か月以内の解約に対して、消費者が高額

携帯電話などの購入 安易な気持ちは禁物

な違約金を支払う念書などを書かされていることがあります。契約のときは、契約書面や念書などの内容をよく確かめ、通話料金も一般の通話料金と異なり割高なことも念頭にに入れておきましょう。

安易な気持ちで契約するのは絶対禁物です。

また、未成年者が契約するときは親の同意が必要で、未成年者が成人しているかのように偽つ

公園

クリスマスと正月 飾りをばら園で

□クリスマスリース作り
日時 12月14日(日)午前10時～正午 対象 一般、先着五十人 参加費 1000円 申し込み 12月5日(金)から電話で

□お正月の和風フラワーアレンジメント作り
日時 12月21日(日)午前10時～正午 対象 一般、先着五十人 参加費 1000円 申し込み 12月11日(木)から電話で

○：以上の会場、申し込みと問い合わせは敷島公園「ばら園」 233-8680へ。

ます。有権者が政治家やその後援団体などに対して、あいさつを目的とする有料の広告を求めることも禁止されています。

○：問い合わせは選挙管理委員会事務局 内線3623へ。

前橋市ホームページのアドレス

<http://www.city.maebashi.gunma.jp/>

前橋シティインフォメーション

エフエム群馬 (86.3MHz)

毎週木曜 午後 1時35分から4分間
毎週金曜 午前10時20分から4分間



たり、親の同意があるかのように書面を偽って契約したりした場合、詐欺的行為と見なされて契約の取り消しはできませんので、ご注意ください。

○：問い合わせは消費生活センター 2330-1755へ。

福祉

障害者の福祉

理解と関心を

今月九日は「障害者の日」。昭和五十年十二月九日、国連で「障害者の権利宣言」が採択されました。同五十六年、我が国ではこの日を記念し、「障害者の日」を制定しました。この日は、障害者の福祉について理解と関心を深め、障害者自身が社会参加意欲を高めるためのものです。この機会に、障害者問題についてもう一度考えてみましょう。

○：問い合わせは社会福祉課 ☎ 内線3140へ。

税

住宅用地の申告

1月30日までです

固定資産税にかかる住宅用地の軽減措置は申告制です。申告がないと、軽減の適用が受けられない場合があります。なお、今年新増築して家屋評価を受けて

いるときには、申告は不要です。対象Ⅱ個人・法人を問わず今年1月2日から来年1月1日までに住宅を新築したり、増改築をしたりした所有者。既に住宅用地になっている土地の住宅を取り壊したり、住宅を店舗にするなどほかの用途に変更したりした場合にも申告が必要。申告期間・提出先Ⅱ1月30日(金)までに市役所2階資産税課へ

○：問い合わせは同課 ☎ 内線3217へ。

家屋を壊したら 減失届を忘れずに

家屋の一部または全部を取り壊したときには、必ず減失届を市役所2階資産税課へ提出してください。今月三十一日までに取り壊した家屋には、来年度から固定資産税がかからなくなります。届け出がなかったり、来年四月以降に遅れたりした場合には課税されることがあります。納税通知書送付後の届け出には、取り壊しの証明書などが必要で

○：問い合わせは資産税課 ☎ 内線3218へ。

給与所得者の 年末調整手続き

サラリーマンの所得税は、毎月の給料やボーナスなどが支払われるときに源泉徴収されます。この徴収額の合計は、その年の給与総額に対して計算した正規の所得税額と普通一致しません。これは①年の途中で扶養親族の数が変わる②配偶者特別控除や保険料の控除が毎年の税額計算時に差し引かれない③給料やボーナスに適用する税額表は給料が変わらないものとして作成されている——などのためです。

このため、その年最後の給料支払時に毎月源泉徴収された所得税の合計額と、一年間の給与総額に対する年税額との過不足額の清算が必要で、これを「年末調整」といいます。給与の支払者は、年末調整でその差額の清算をしなければなりません。大部分の給与所得者にとって確定申告に代わるたいせつな手続きです。

しかし、次のような場合には確定申告が必要です。①給与の収入金額が二十万円を超える②給与所得や退職所得以外の所得金額の合計が二十万円を超える③給与などを二か所以上から受けている。確定申告が必要ない給与所得者でも、雑損控除や医療

ボランティア 介護

茂木 恭子さん
二之宮町・65歳



毎週一回「前橋すみれ荘デイサービスセンター」で食事介助やお年寄りの話し相手になったりしています。お年寄

費控除、今年初めて住宅取得等特別控除を受けようとするときなどは、確定申告をすれば、所得税が還付される場合があります。

○：問い合わせは前橋税務署 ☎ 224-4422へ。

特別滞納整理月間 休日の収納窓口も

年末を控えた今月を「市税特別滞納整理月間」と定めて、市税の納付を積極的に呼びかけます。市税を滞納している人には、既に督促状や催告書を発送しましたが、まだ未納の人が見受けられます。この期間中に職員が滞納世帯を直接訪問し、個々の事情を伺いながら滞納整理を進めていきますので、ご協力ください。納税は納付書が督促状を用意

りと接していると、逆に励まされることもあるんです。これから、家族のようにお世話していきたいですね。

して、最寄りの金融機関が市役所2階納税課窓口で納付してください。留守がちな家庭には口座振替制度をお勧めします。申し込みは金融機関または郵便局へ。

□期間中に臨時収納窓口
市税を平日に納付できない人のために、納税課の収納窓口を臨時に開きます。

日時Ⅱ12月14日・21日(日)・23日(火)・27日(土)、午前8時30分～午後4時 場所Ⅱ市役所2階納税課窓口

○：問い合わせや納税相談は納税課 ☎ 内線3229へ。

12月の納税

◆固定資産税・都市計画税第四期、国民健康保険税第六期Ⅱ12月25日(木)まで

水道

早めの防寒対策で凍結事故を防止

朝晩の冷え込みも厳しくなり、いよいよ冬本番です。水道管も寒さから守ってあげること、凍結事故を防止できます。早めの防寒対策で、水道管の破裂やひび割れを防ぎましょう。

□凍らないための予防

①寒さから守るために、保温材（毛布、布、ワラなど）を水道管や蛇口に巻き付けましょう。保温材は、ぬれないようにビニールテープなどで押さえてください。②メーターボックスの中は布や発泡スチロールなどを入れて保温。布や発泡スチロールは、ぬれないようにビニール袋に入れます。

なお、検針しやすいようにメ

ーターの上面は空けておいてください。

□破裂して水が噴き出したとき

最初にメーターボックス内の止水栓を閉めて水を止めます。破裂やひび割れた部分に布やテープを巻いて、応急処置します。修理は最寄りの水道局指定工事店へ申し込んでください。

□凍って水が出ないとき

自然に解けるのを待つか、タオルをかぶせてゆっくとぬるま湯をかけて解かしましょう。熱湯を直接かけると水道管や蛇口が破裂したり、ひび割れたりするので、注意してください。

○：問い合わせは水道局給水課
234-5511へ。

引越しのとき

水道局にも届け出

引越しのときには、次の五点を確認し、早めに水道局へ届け出てください。届け出がないと水道を実際に使っていないと基本料金がかります。

①現住所（水道使用場所）②使用者の氏名③検針票や領収書に記載されている「水道番号」④引越し日⑤引越し先の住所と電話番号。

各種届け出は水道局だけでなく、市役所1階公益事業コーナーでも受け付けています。

○：問い合わせは水道局料金課
234-5511へ。

休日の水道指定工事店

12月14日(日) 内田設備工業 ☎233-2739 12月21日(日) 富士管工設備 ☎231-4671 12月23日(火) 福田設備工業 ☎221-8121 12月28日(日) 城東水道設備 ☎243-6386

相談

法律相談 火曜(12月23日を除く) 午後1時～4時、市役所1階市民相談室。弁護士による相談。受け付けは前日の午後2時から市民相談室 ☎内線3100へ。先着六人

公証相談 12月8日・22日(月) 午後1時～4時、市役所1階市民相談室。遺言や不動産の売買などの公正証書作成の相談

行政相談 12月15日(月) 午後1時～4時、市役所1階市民相談室。行政に対する要望・相談

税務相談 12月15日(月) 午後1時～4時、市役所1階市民相談室。相続税や贈与税などの相談

行政書士相談 1月5日(月) 午後1時～4時、市役所1階市民相談室。官公庁などへの提出書類作成や手続きの相談

景観アドバイザー相談 12月11日・25日(木) 午後1時30分～4時

人権を

みんなで守って 明るいまち

時、市役所3階33会議室。よりよい景観に関するアドバイザー。事前に予約を市街地整備課 ☎内線3744へ

心身障害者相談 (肢体) 12月7日(日) 午後1時30分～4時 (聴覚) 12月10日(水) 午後6時30分～9時 (内部・難病・知的障害) (精神) 12月14日(日) 午後1時30分～4時。以上の会場は心身障害者福祉会館(朝日町三丁目)。

問い合わせは社会福祉課 ☎内線3148へ

精神保健相談 12月16日・1月6日(火) 午後1時30分～3時30分、保健所。予約を同所 ☎231-7721へ

お年寄り心の相談 1月7日(水) 午後1時30分～3時30分、保健所。予約を同所 ☎231-7721へ

ふれあい相談 ☎224-1155 月曜～金曜、午前10時～午後4時、市職員研修会館(本町一丁目)。心配ごとの面接・電話相談

幼児教室 月曜～金曜、午前9時～午後3時、総合教育プラザ内幼児教室(岩神町三丁目) ☎230-9089。心や体の発達に心配のある幼児の教育や就

学の電話・面接相談。面接は予約を同室へ

高齢者電話相談 ☎224-4111 月曜～金曜、午前9時～午後4時(正午～午後1時を除く)

年金相談 月曜～金曜、午前9時～午後4時(正午～午後1時を除く)、市役所1階市民相談コーナー。国民年金・厚生年金などの相談

電話労働相談 ☎269-1234 12月17日(水) 午後1時30分～4時、相談員は社会保険労務士・松村春光さん。賃金・解雇・退職金など労働問題の相談。問い合わせは工業課 ☎内線3614へ

母子家庭相談 月火木金曜、午前9時～午後4時、市役所2階児童家庭課(☎内線3154)。母子家庭や寡婦の電話・面接相談

外国人相談 月曜、午後1時～5時、市役所1階市民相談コーナー。英語・中国語・ポルトガル語・スペイン語の四か国語で面接相談

外国人語相談サービス

時間 毎週 二 下 午 一 点 到 五 点
地点 市役所一階市民相談室
「外国人語相談サービス」内 新
設語種 英語、中国語(漢語)、
葡萄牙及西語(四種外語)
諸費用 無料

商工業

青少年ホームで

正月向け料理講座

勤労青少年ホームで、クリスマスやお正月向け料理の特別講座を開きます。

日時 12月17日(水)・18日(木)、午後6時30分～8時30分 会場 勤労青少年ホーム(大渡町二丁目) 対象 市内在住・在勤で

30歳以下の人、先着三千人 内容 1 クリスマス料理とおせち料理 講師 管理栄養士・立見まさ子さん、同・瀬下美恵子さん 参加費 4千円 申し込み 12月8日(月)～12日(金)、午後1時～



勤労青少年ホームの料理講座

求職者を対象に

企業との面接会

日時 12月11日(木)午後1時～4時 会場 県JAビル(亀里町) 内容 人材を求めている企業と

直接

歳末たすけあい

募金にご協力を

「地域でささえあうあったかいお正月——」。今月一日から「歳末たすけあい募金」が行われています。

昨年は市民の皆さんのご理解とご協力で、千五百九十五万九千五百七十八円の浄財をいただきました。

この浄財は市内の生活保護

世帯、長期入院患者、高齢者児童・社会福祉施設入所者、在宅重度心身障害者(児)、要介護のお年寄りなどに配分されました。今年も皆さんの温かい善意をよろしく願います。

受け付け 12月15日(月)までに 共同募金会前橋市支会(市役所2階生活課内) 内線3236へ

求職者との面接 申し込み 当日会場へ直接 問い合わせ 8609

三三情報

社会福祉協議会の福祉バザー

「福祉バザー」を開催します。衣類や日用雑貨などがいっぱい。みなさんお誘い合わせでお出かけください。

日時 12月13日(土)午後1時 会場 市職員研修会館(本町一丁目) 内容 衣料品・日用雑貨品・野菜類などの販売 問い合わせ 社会福祉協議会 内線6033

年賀状の差し出し人欄に7けたの郵便番号を記載

二月二日から郵便番号が七けたになります。これに伴い、年末に出す年賀状の差し出し人欄へ、七けたの郵便番号の記載をお願いしています。

〇：問い合わせは郵便サービス案内センター ☎0120-232886へ。

「ひょうご便り」送付

阪神・淡路大震災の被災者へ兵庫県から行政情報や被災地の状況を掲載した情報紙「ひょうご便り」を送付しています。希望する人はハガキで。住所・氏名・電話番号・被災時の居住地と「ひょうご便り」送付希望と明記して、〒600神戸市中央区下山手通五丁目一〇一・兵庫県生活復興推進課(☎0120-784133)へ。なお、無料電話相談も行っていますので活用ください。

市民献血

12月4日(木)午前9時～午後5時、県赤十字血液センター(天



題字・上原 由美子
山王小4年

〇三十万円 前橋中央ライオンズクラブから。
〇十九万二千円 東京電力前橋営業所から。
〇一万円 一市民から。
〇電動ベッド・エアマット・車いす各一台 天川大島町・新井武さんから。
〇ギャッジベッド一台 総社町三丁目・小林弘明さんから。
〇車いす一台 下細井町・坂上金一郎さんから。
〇以上の六件は社会福祉のために。

〇五十万六千円 市民生委員児童委員協議会から。
〇三十万円 市斎場協力会から。
〇二十五万円 ちゅうしん親睦会から。
〇十万円 前橋不蔵会から。
〇六万二千七百円 表町二丁目・二丁目婦人会から。
〇四万四千円 宅建協会中毛ブロックから。
〇以上の六件は社会福祉事業基金へ。
〇一万円 朝倉町四丁目・大山輝雄さんから社会福祉基金へ。
〇一万円 箱田町・米倉文吉さんから障害福祉のために。
〇サルビア千株 上小出町二丁目・栗原繁さんから学校美化推進のために。

10月の交通事故

() 内は前年同期

件数 二二一件 (二九六件) 累計 二七〇八件 (二六九九件) 死者 〇人 (三人) 累計 二二人 (二六人) 傷者 三九二人 (三六〇人) 累計 三三八七人 (三三七九人)

健康手帳

夜間急病診療所からのお願い

夜間の救急体制を確保するために、前橋市と前橋市医師会が協力して昭和52年8月に夜間急病診療所が開設されました。以来20年間、午後8時から午前0時まで、1日の休みもなく前橋市医師会の会員が輪番制で、内科と小児科の診療に当たってきました。平成8年度は6308人の患者さんを診療し、重症者31人を含む219人が、二次病院に転送されて入院加療を受けています。このように夜間急病診療所は、市内や周辺地域の人々の健康を守るための重要な施設となっていますが、診療を担当する医師会から、利用する人々にいくつかのお願いがあります。

診療科目は、内科と小児科だけです。ときどきやけどやけが、中耳炎や結膜炎などの患者さんが受診に来ます。もちろんできる限りの応急手当てをしますが、専門外のことで、しかも限られた設備ですので、いつもご満足いただける対応ができるとは限りません。夜間急病診療所で対応できるのは、原則として内科と小児科であることを忘れないでください。

診療時間は午前0時までです。診療スタッフは、0時までということで勤務していますし、入院が必要な患者さんを受け入れる二次病院も、0時までの約束で契約しています。また、診療をして薬を作るのに30分近く掛かります。緊急の発病はやむをえませんが、前から分かっているときはできるだけ早くおいでください。

既に薬を飲んでいる人は、薬の名前や飲み方の書いてある紙を持参してください。このことは、二重投薬による無駄や、薬の併用による副作用を避けるために、とてもたいせつなことです。

夜間急病診療所は、あくまでも緊急時の応急手当てをする所です。翌朝必ずかかりつけの医師の診察を受けてください。

(前橋市医師会 広報委員会)



健康

寒くなりました

風邪などにご用心

だんだんと寒くなり、空気が乾燥してきました。こんな時期には「風邪」や「インフルエンザ」が流行します。体力がじゅうぶある人であれば、風邪をひいても一週間くらいで治りますが、抵抗力が低下していると肺炎に移行してしまうことがあります。

インフルエンザの場合は、高熱や全身の強いだるさなど、一般的な風邪より症状が重く出るのが特徴です。お年寄りや子どもの熱やせき・たんなどが長く続く場合は、特に注意が必要です。

風邪やインフルエンザを予防するには、早寝早起きなどの規則正しい生活と、流行期には人込みに出ない、外出から帰ったらいが手洗いをし、温かい飲み物をじゅうぶんに取るなど、日ごろからの心がけがたいせつです。

「なにかおかしいな」と思っ



功績が認められ受賞

たら、早めに医療機関で受診することをお勧めします。

●市医師会に保健文化賞
市医師会では市民の健康を守るため、長年にわたりインフル

エンザや予防接種などに対して調査研究を進めてきました。このたび、その功績が認められ、保健文化賞・厚生大臣賞を受賞しました。

○：問い合わせは市医師会
☎243-15611へ。
健康テレホンサービス
☎234-4970

月曜 肺の働き
火曜 いろいろな肺炎
水曜 肺結核と肺ガン
木曜 肺気腫
金曜 気管支喘息
土・日曜 肺疾患の予防と早期発見

休日当番医

★夜間急病診療所 朝日町4-9-5 ☎243-5111
・午後8時～午前0時 ・内科と小児科

月	日	週	内 科				科	婦人科	耳鼻科	眼 科	歯 科	
12月	14日	第2日曜	大川小児科医院 若宮町2-2-10 231-5288 見	富士たばこクリニック 日輪寺町342-2 230-1155 内	紀内科医院 住吉町1-18-15 235-5080 内	中野 医 院 新前橋町8-15 290-1388 内	外科皮膚科たき医院 大利根町1-33-3 251-5101 外	普谷泌尿器科皮膚科医院 西片貝町5-19-6 243-5525 外泌	秋草産婦人科医院 日吉町3-16-5 231-8433	貴 船 医 院 高崎市井野町1253-3 0273-62-0082	高山眼科緑町医院 高崎市緑町1-5-3 0273-61-6888	日曜・祝日は 歯科医師会館 岩神町2-19-9 ☎232-2046 ・午前10時～午後3時
	21日	第3日曜	さんたい小児科 下大屋町272-5 268-4633 見	河内循環器クリニック 昭和町3-26-23 233-3311 内外	いながき内科医院 下阿内町362-1 265-5515 内	若 宮 内 科 日吉町4-44-47 234-6001 内	中村外科医院 文京町1-33-18 221-3951 外	富沢脳神経外科内科医院 下小出町2-13-10 234-3488 脳外	馬場産婦人科医院 石倉町2-2-8 251-7485	新前橋耳鼻咽喉科医院 占市町1-48-6 253-6170	二之宮眼科医院 二之宮町1197-2 268-2222	
	23日	祝日	岡野内科胃腸科医院 荒牧町959-3 237-1200 内	杉本 医 院 六供町1-11-5 223-2061 内	沢渡内科循環器科医院 広瀬町3-6-6 266-2112 内	中田小児科医院 大利根町1-39-1 251-1360 見	堤整形外科医院 元郷社町169-3 251-2229 整	狩野脳神経外科医院 上京町698-3 269-5454 脳外整	今井産婦人科内科医院 東片貝町875 221-1000	耳鼻咽喉科田中医院 高崎市鍛冶町22 0273-22-2601	沼賀眼科医院 高崎市相生町4 0273-27-1270	

わが家の
アイドル



たけあき
倉田 起明くん (1歳1か月)

おじいちゃんおばあちゃん、大きくなったよ。(美津子さん・箱田町)



あかね
内田 茜ちゃん (1歳10か月)

とても明るくてみんなの人気者です。(まゆみさん・国領町一丁目)



ゆうと
鷲頭 優斗くん (1歳1か月)

元気いっぱい、笑顔が最高です。(雅代さん・六供町一丁目)



あざみの会

毎月第2・第4水曜、午前9時30分～正午、
総社公民館／会員数13人／指導者・田中文字子
さん／代表者・平井京子さん ☎253-3146 ★ボタンのように大きな花から、
道端に咲いている小さな花までを押し花にして楽しめます。美しさを
そのまま残すために、優しい気持ちで作品に取り組んでいます。

シアート館

この絵はベニヤ板
の上にかいているん
です。絵の題材に合
わせて、キャンバス
を作ります。絵を一
枚仕上げるのは、ま
るで子どもを育てる
ようですよ。

下増田町
小暮 孝太郎さん・76歳



くろび
黒檜と大沼の秋

編集
こぼれ話

▼表紙の撮影で、東中の「校内マラソン大会」へ。菌を食いし
ばりながら、いっしょうけんめ
い走る生徒たちの姿に感動しま
した。と同時に、マラソンが苦
手だったあのころに引き戻され
る思いでした(竹)▼「ほっとメ
ール」の原稿を募集中です。趣
味のことや心に残るいいお話な
どを、四百字程度にまとめて送
ってください。「わが家のアイド
ル」では、お父さんからの応募
もお待ちしております(林)。

市 民
憲 章



市民の願い

わたくしたちは
水と緑と詩のまち 前橋の市民です
日々のしあわせと伸びゆくこのふるさとの
明日をめざして

- 1 やさしい心をもとう
- 1 強いからだをつくろう
- 1 たのしく働こう
- 1 自然をまもろう
- 1 文化を大事にしよう